

日本薬物動態学会第 20 回ワークショップ・プログラム

(最終版：2006/03/16)

日 時：2006 年 4 月 13 日(木)，14 日(金)
場 所：昭和大学・上條講堂 (品川区旗の台 1 - 5 - 8)
主 題：創薬の閉塞感を突破する薬物動態技術
代表世話人：三輪 哲生 (武田薬品工業)
主催：日本薬物動態学会

第一日目 (4 月 13 日，8:50 ~ 19:30)

8:50 ~ 9:00 はじめに

座長：ノバルティス ファーマ 川合良成

基調講演

9:00 ~ 9:50 Drug Discovery in the 3rd Millennium
Veronique Dartois
(Institute for Tropical Diseases of the Novartis Foundation)

テーマ 1 探索 ADME/Tox スクリーニング

座長：田辺製薬 久米俊行，アステラス製薬 碓井孝志

9:50 ~ 10:20 ADME/物性スクリーニングの創薬研究における位置づけ
寺村 俊夫 (アステラス製薬)

10:20 ~ 10:50 Experimental Protocol for ADME/Tox Screening: Predictability of
Human PK
Darwin Cheney (Cyprotex)

10:50 ~ 11:00 休憩

座長：ディスリー研究所 堀江 透，協和発酵工業 布施英一

11:00 ~ 11:30 Early ADME/Tox Profiling During Discovery Research:
Streamlined, High Throughput Methods for Data Generation and Data
Evaluation
Daniel B. Kassel (Takeda San Diego)

11:30 ~ 12:00 In silico ADMET の有用性 - メディシナルケミストの立場から -
多田 幸雄 (大鵬薬品工業)

12:00 ~ 13:30 昼食

テーマ 2 非臨床 ADME から臨床動態へ(実験データと数学モデルの融合)

座長：三共 泉 高司，東京工業大学 石川智久

13:30 ~ 14:00 薬物脳関門透過性評価法の開発：

条件的不死化細胞株からトランスポーター・プロ テオミクスへの新展開
寺崎 哲也 (東北大学)

14:00~14:30 Practical Simulations vs Accurate Predictions: Best Use of the
Known-Knowns to Discover Unknown-Unknowns
Amin Rostami-Hodjegan (Sheffield University)

14:30~15:00 シミュレーター機能付き薬物間相互作用データベースの構築
加藤 基浩 (中外製薬)

15:00~15:20 休憩

座長：, 塩野義製薬 尾熊隆嘉 , 永井財団 小林 智

15:20~15:50 Rescuing Drug Discovery & Development A Molecular Systems Approach
to Liver Toxicity
Robert N. McBurney (BG Medicine)

15:50~16:20 PK/PD に基づく臨床試験シミュレーションの有用性と限界
中出 進 (小野薬品工業)

16:20~17:10 The concept of Proof of Concept validity, utility, classification
Paul Rolan (University of Adelaide)

17:30~19:30 懇親会

第二日目 (4月14日, 9:00~16:30)

基調講演

座長：ファイザー製薬 岩崎一秀

9:00~9:50 医薬品 R&D へのインビボイメージング法の応用
佐治 英郎 (京都大学)

テーマ1 in vivo イメージング技術を利用した PK/PD

座長：第一製薬 岡崎 治, 日本ベーリンガーインゲルハイム 五十嵐 隆
9:50~10:20 PET を用いた創薬技術開発の道のりと今後の展望
西村 伸太郎 (アステラス製薬)

10:20~10:30 休憩

10:30~11:00 PET による薬物標的分子のイメージング
須原 哲也 (放射線医学総合研究所)

11:00~11:30 MRI を利用した非侵襲的薬物評価
中谷 暁 (日本メジフィジクス)

11:30~13:00 昼食

特別講演

座長：大阪大 東 純一

13:00～13:50 個別化医療の臨床応用への条件
鎌谷 直之（東京女子医科大学膠原病リウマチ痛風センター）

テーマ2 臨床試験推進

座長：三共 池田敏彦

13:50～14:40 Human Phase 0 Microdosing Studies - Results of the CREAM Trial
Colin Garner (Xceleron Ltd)

14:40～15:00 休憩

座長：第一製薬 須藤賢一，大正製薬 河野喜郎

15:00～15:50 CYP3A4 and CYP3A5: Their Clinical Importance and Assessment of
Function
Kenneth E Thummel (University of Washington)

15:50～16:20 有限責任中間法人医薬品開発支援機構の活動
高仲 正（昭和大学）

16:20～16:30 おわりに

参加ご希望の方は、学会ホームページから申し込んでください。（最新情報は、学会のホームページ <http://www.jssx.org/> をご覧ください。）オンライン登録を行います。オンライン登録のできない方は、下記までご連絡ください。

定員 450 名（先着順）

参加費：日本薬物動態学会 会員 15,000 円（当日 20,000 円）、非会員 20,000 円（当日 25,000 円）、学生 5,000 円（当日 6,000 円）（要旨集代，懇親会費含む）

連絡先：〒101-8449

東京都千代田区神田錦町 3 丁目 2 4 住友商事神保町ビル

株式会社 ICS コンベンションデザイン内

日本薬物動態学会第 20 回ワークショップ登録事務局

TEL：03-3219-3600 FAX：03-3292-1811

E mail:06ws-jssx@ics-inc.co.jp